

## A . 主な動き

### 1 . 内政

#### 財務相の交替

・18日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ヤロシェンコ財務相の辞表を受理し、後任にホロシコフスキー国家保安庁長官を任命。

・19日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ロキツキー国家保安庁第一副長官兼汚職、組織犯罪対策局長を国家保安庁長官代行に任命。

#### ティモシェンコ前首相に関する動き

・18日、国家保安庁は、2011年11月15日に最高会議で採択された刑法・刑事訴訟法改正案が17日に発効したことに伴い、ティモシェンコ前首相に対する「ウクライナ統一エネルギー・システム」社に関する複数の刑事訴追のうちの1件をとりやめた旨発表。

・18日、最高検察庁は、ティモシェンコ前首相の健康状態を診断するための(政府から)独立した医療チームを組織する用意がある旨発表。

#### その他

・19日、トゥルチノフ「バチキフシナ」党第一副党首とソボレフ「改革と秩序」党首は、2012年最高会議選挙に向けた両党の統合に関する共同声明に署名。

・19日、ヤヌコーヴィチ大統領は、アザーロフ首相、リョーヴォチキン大統領府長官、ポポフ・キエフ市行政府長官等と共に、聖ポクロフ教会(キエフ)にて行われた洗礼祭に参列。

・20日、キエフ市控訴裁判所は、ゴンガゼ記者殺害事件への関与の疑いに基づいたクチマ元大統領に対する刑事訴追の開始を命じる検事総局決定を無効とする旨の2011年12月14日付キエフ市ペチェルスク地区裁判所決定を合法とする判決を発表。

### 2 . 経済

#### マクロ経済

・16日、国家統計局は、2011年1-11月の輸出額が対前年同期比34.3%増の619億5千万ドル、輸入額が同38.1%増の747億1千万ドル、貿易赤字額が127億6千万ドルであった旨報告。

・16日、国家統計局は、2012年1月1日時点で国家労働局に公式に登録された失業者は前年比0.3ポイント増の1.8%、総数で約48万3千人となった旨報告。

・17日、アザーロフ首相は、実質GDP成長率が2010年の4.2%から2011年は5.2%に増大した旨発言、2011年の状況下においては素晴らしい数値であった旨評価。

・18日、アザーロフ首相は、閣僚会議において、2011年の

ウクライナのGDP成長率は欧州においては最大であり、EU諸国におけるGDP成長率は平均1.6%、CIS諸国においては平均4.5%である中、ウクライナの5.2%は最も良い結果であった旨発言。

#### 金融・財政

・16日、財務省は、国家債務が2010年のGDP比29.9%から2011年はGDP比27.4%に減少した旨報告。

・20日、アザーロフ首相は、閣僚会議においてIMFの融資なしでも問題ないとしつつ、ホロシコフスキー新財務相が間もなくIMFとの協議に入り、政府としていくつかの提案を行う予定である旨発言。ウクライナ政府は1月24日にIMFとの協議を再開する旨報告。

#### ガス問題

・17日、ボイコ・エネルギー石炭産業相は、モスクワを訪問、ミレル露ガスプロム社長とガス価格削減につき交渉。同日、ウクライナ・エネルギー石炭産業省は、建設的交渉が行われた旨、更に最終的合意に至るまで交渉を続けることで両者が一致した旨発表。

・20日、ボハティリョーヴァ国家安全保障国防会議書記は、同日の国家安全保障国防会議において、現行のロシアのガス輸入に関する契約は国家の安全保障にとり脅威となっており、ガス供給源の多様化及び国内資源の開発が不可欠であるとの結論に至った旨発言。

### 3 . 外政

#### ウクライナ・モルドバ首脳会談

・18日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ルプ・モルドバ大統領代行兼議会議長と会談し、両国の友好関係を強化することで一致した。また、沿ドニエストル紛争解決に向けウクライナが果たす調停者としての役割についても協議が行われた。

#### グリシチェンコ外相のラトビア訪問

・16日、グリシチェンコ外相は、ラトビアを訪問し、リンケービッチ外相と会談。両者は、二国間関係の発展、ウクライナの欧州統合問題、欧州安全保障協力機構(OSCE)、国連、バルト海沿岸諸国評議会(CBSS)等の国際機関の枠内における連携につき意見交換した後、共同声明に署名。グリシチェンコ外相は、アーボルティニャ国会議長とも会談し、議会レベルでの両国関係強化を確認。

・16日、グリシチェンコ外相は、訪問先のラトビアでリガ・ウクライナ中等学校の改築記念式典に出席し、ヤヌコーヴィチ大統領のラトビア政府に対する謝辞を代読。グリシチェンコ外相は、式典会場にてベルズインシュ大統領と会談し、改めてラトビア国内におけるウクライナ人社会に対する配慮に感

謝の意を表明の上、政治、経済、文化分野での両国関係の強化についても協議。

#### グリシチェンコ外相の訪伯

・20日、グリシチェンコ外相は、ブラジルを訪問し、パトリオッタ外相と会談。2011年10月のヤヌコーヴィチ大統領訪伯時に締結された二国間協定及び覚え書きの実施状況、今後締結予定のウクライナ・ブラジル戦略的パートナーシップ協定に盛り込む具体的内容(貿易、エネルギー、造船、化学、建築分野)、二国共同宇宙計画「サイクロン - 4 - アルカンタラ」、教育分野における協力関係等に関して協議。同日、グリシチェンコ外相は、アモリン国防相、ロバオ鉱山エネルギー相とも会談し、防衛及び鉱業分野における両国協力関係の発展に関しても協議。

## 4 . 防衛

#### ペドチェンコ参謀総長のブリュッセル訪問

・18日、ペドチェンコ参謀総長は、NATO軍事委員会出席の

ためブリュッセルを訪問、2012年の軍事協力優先事項、EU海賊対処活動へのウクライナ軍参加等を議論。

・18日、バルテルスNATO軍事委員会議長と会談、ウクライナの非同盟方針はウクライナの国益にとって最善策である旨発言、一方、国際的な関与とNATOとの建設的なパートナーシップの深化は継続する旨指摘。

・19日、コソボ治安維持部隊に工兵部隊を派遣する計画がある旨発言、ウクライナは平和維持軍による任務を継続する準備ができている旨強調。

#### その他

・16日、最高会議は、武器・弾薬・地雷廃棄に関するウクライナ・NATO協定(2011.9.21署名)を批准。

・16日、エジェリ国防相は、2017年までの5年間に軍人15%~20%を削減し13万人にする旨発言、一方、兵器、軍装備品を特に注視するとともに、軍人報酬は2倍にする予定である旨指摘。

(了)